

## コロナ禍で低迷した香港経済のこれからについて

香港事務所長 山本 大祐

### 1. 現在の香港経済について

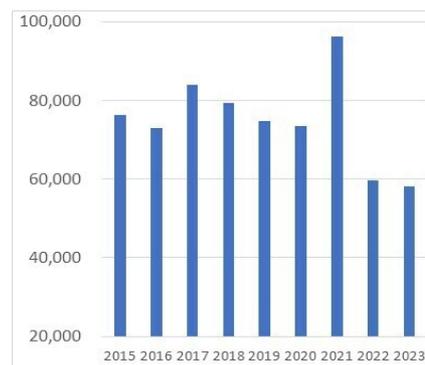
現在の香港経済は低迷していると言われている。

香港の代表的な株価指数であるハンセン指数は、コロナ禍前の2018年1月の高値である33,154ポイントから、2024年9月初旬時点では21,133.68ポイントと低い数値であり、経済の重要な指標となる不動産売買数についてもコロナ禍前よりも低い件数である。

このように香港経済が低迷している原因として、香港住民が深圳や珠海など近隣の中国本土に買い物や食事に出かける「北上消費」の増加に伴う小売店の売上の低迷や、中国本土からの観光客の消費金額の減少がある。

小売店売上高は大きく減少しており、香港政府統計処が11月1日に発表した9月の小売売上高は、前年同月比で6.9%減となり、7か月連続で減少している。

中国本土からの観光客の主な行動が、コロナ禍前は宝飾品などの高価なものを購入する消費型であったのに対し、現在はヴィクトリアピークや寺院などに行く体験型へと変化していることが、消費金額の減少を引き起こしている。



(表) 香港の不動産売買件数

(単位：件、出展：中原地产 HP)

### 2. 李家超行政長官の2024年の施政報告（施政方針演説）について

そのような香港の経済情勢の中、2024年10月16日に香港の李家超行政長官の2024年施政報告が行われ、今後の経済対策について発表された。演説では、香港経済の浮上のための具体的な経済施策として、酒類の輸入関税について、アルコール度数が30%を超えるものについては現在100%の関税がかけられているが、一本当たりの輸入価格が200HKDを超えるものについては、今後は超過部分の税率が10%に引き下げられることが発表された。

また、香港証券取引所への上場手続きの合理化を推進することにより、香港株式市場への上場を促し市場を活性化することや、住宅ローンの借入限度額を緩和することにより、不動産購入を促す施策が発表された。

特に、日本にとって最も影響があると思われるのが輸入関税の減税についてである。ウイスキーや白酒などのアルコール度数の高い飲料が現在よりも低価格となることで、特に高級小売店や高級レストランでの販売を促進し、香港人、

観光客問わず高付価値の商品の消費拡大につなげるとともに、香港での貿易を活性化させることが見込まれる。これにより、日本から輸出されるウイスキーやアルコール度数が30%を超える焼酎などの輸出量が増加する可能性がある。

### **3. 施政報告に対する現地企業の反応と、県内企業のビジネスチャンス**

李家超行政長官の施政報告で発表された施策について、香港の日系企業や現地企業にヒアリングを実施した。

香港証券取引所への上場手続きの合理化について、香港にある日系メガバンクの担当者に確認したところ、投資される資金量については限定的であり、中国経済も香港経済と同様に低迷が続いているため、香港市場に上場する中国企業数がどれだけあるのかが重要であるとのことであった。

住宅ローンの借入限度額について、日系の不動産仲介業者に今後の不動産売買数の見込みを確認したところ、住宅ローンの借入限度額の緩和のみでは直ちに売買件数が増加する可能性は少なく、中国本土から香港の不動産市場への投資拡大や、今後ドルペッグ制を採用している香港の政策金利が引き下がれば、不動産売買が活発になるとのことであった。

酒類の輸入関税の減税について、香港のアルコール飲料輸入代理店に減税の影響を確認したところ、日本産の酒類の輸入増加も見込まれるが、同時に中国からの白酒の輸入量が増えることや、香港を介しての白酒の世界へのPRが今後活発に行われることが注目されるのではないかとのことであった。

上記のように、香港経済と中国経済は密接な関係にあり、香港の経済が浮上するためには中国本土が重要な役割を担っていると考えられる。一方で、特にアルコール度数が30%を超える焼酎は、既に香港の高級Barでリキュールとして使用されていることが多く、県内で生産されているアルコール度数が30%を超える焼酎についても少なからず輸出するチャンスがあると思われる。

日本のコンサルティング会社が発表した資料によると、2023年10月から2024年9月の香港での「日本の都道府県」の検索数（英語・繁体字合計）は、福岡が80万7000回でトップとなっていることがわかった（以下、東京、大阪、沖縄、北海道の順が続いている）<sup>1</sup>。当事務所にも環境や食品分野で、県内の企業と資本提携や投資をしたいという香港企業からの問い合わせが相次いでいる。

ドルペッグ制を採用している香港市場から見た今の日本は安い国であり、経済が低迷している香港から見ても魅力があるのだ。その日本の中でも、香港に最も身近な福岡という地の利を強みにして、新たな市場を開拓できる可能性があるのではないだろうか。

※為替レート 1香港ドル≒20円

<sup>1</sup> アウンコンサルティング株式会社HP <https://www.auncon.co.jp/press/release/2024-10-24/>